

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/10/07

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.31	0.17
JPY/THB	0.2240	-0.0015
USD/JPY	148.70	1.77
EUR/THB	36.56	0.00
EUR/USD	1.0974	-0.0057
USD/CNH	7.098	0.047
SGD/THB	25.55	0.01
AUD/THB	22.63	-0.03
USD/INR	83.98	0.01
USD Index	102.52	0.53

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.281	0.013
10Y (THB)	2.530	0.015
5Y (USD)	3.804	0.176
10Y (USD)	3.967	0.121

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,645.8	-11.3
WTI (Oil)	74.38	0.67
Copper	9,943.5	77.5

Stock

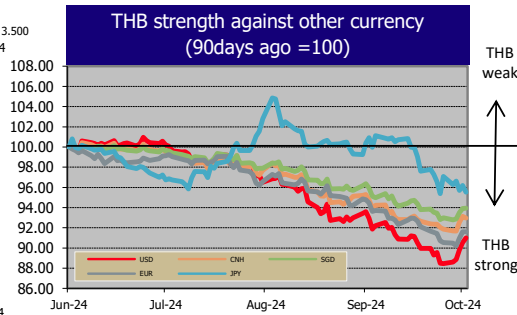
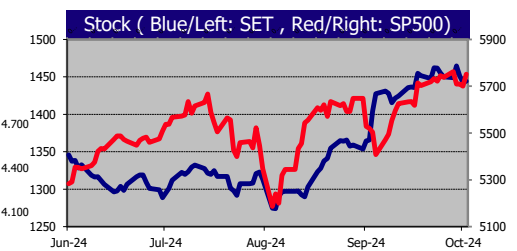
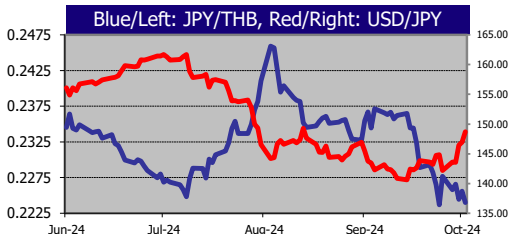
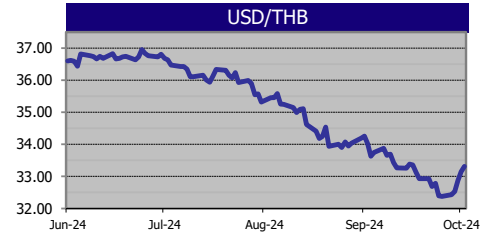
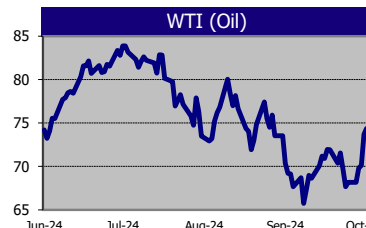
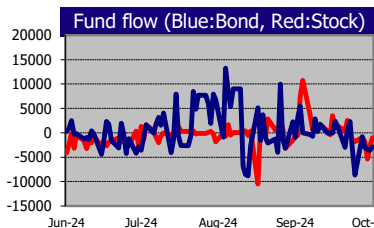
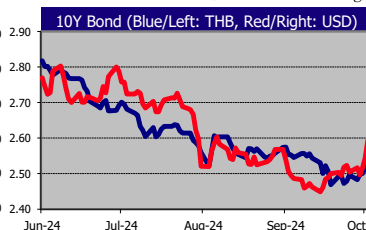
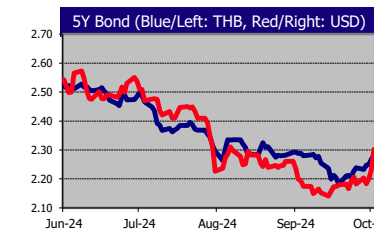
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,444.25	1.52
NIKKEI (JP)	38,635.62	83.56
DOW (US)	42,352.75	341.16
S&P500 (US)	5,751.07	51.13
SHCOMP (CN)	3,336.50	0.00
DAX(GER)	19,120.93	105.52

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,022)	1745.6
Bond net flow	(2,854)	740.7

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

4日(金)のドルパーツは上昇。33パーツ台前半で取引を開始。海外時間に米9月雇用統計の発表を控える中、バンコク時間午後にかけて32パーツ台後半まで下落する動きを見せるも、海外時間入りにかけて再び33パーツ台前半まで戻すといった方向感に欠ける展開に。注目の米9月雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月対比+254千人と市場予想(同+150千人)を上回り、失業率も前回から改善を見せるといった良好な内容となり、幅広い通貨に対しドル買いが進行。ドルパーツも一時33パーツ台半ばまで上昇した。終盤にかけてはドル買いも一巡し、そのまま33.31レベルで週末の取引を終えた。

●ドル円その他

4日(金)のドル円は上昇。146円台後半の水準で取引を開始。石破首相が自身の日銀追加利上げ牽制発言を修正したことを受け、ドル円は下落。一時146円ちょうど付近を付けると、同水準では動きも一服し、146円台半ば付近まで反発した。海外時間、注目の米9月雇用統計が強い結果であることが確認されると、ドル円は急騰。148円台後半まで上昇すると、そのまま148.70レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

先週、下落が続いていたドルパーツは反発した。要因としては、先月末にパウエルFRB議長から利下げを急がないスタンスが示されたことや、地政学リスクの高まり、タイ政府(ピチャイ財務相)とタイ中銀(セタプット総裁)の会談、それに関連する一連の報道等が挙げられよう。そこに金曜日(4日)発表された米9月雇用統計が予想を上回る強い結果となったことが追い打ちをかけた。7月から始まったドルパーツの下落により一服の兆しが見えたところであるが、今後急速に下落分を取り戻すかどうかは慎重に見極める必要がある。雇用統計の結果を受けて、市場が織り込む米国の年内利下げ回数は残り2回となり、直近のドットチャートに沿ったものに調整が進んでいるし、足もとのドルパーツはFOMC前の先月(9月)半ばと同じ水準まで戻している。今後、さらにドルパーツが上昇のトレンドを維持するには新たな材料が必要となるのではないだろうか。今週は10日(木)に米9月CPIの発表が予定されており、来週16日(水)にはタイ中銀による金融政策委員会が開催される。経済指標やイベントを通して足もとトレンドの継続性を見極めていきたいところ。(末廣)